

地方創生推進交付金に係る事業実施結果報告(平成29年度事業実施分)

No	① 交付対象事業の名称 (創生プランでの分類)	② 事業の概要	③ 事業の概要(経費内容)	④ 交付金の種類	⑤ 事業費	⑥ 交付金充当額	⑦ 本事業における重要業績評価指標(KPI)		⑧ 本事業終了後に おける実績値	⑨ 実績値を踏まえた事業の今後について		⑩ 外部有識者 【事業の評価】
							指標	目標値 (H30.3)		実績値 (H30.3)	今後の方針	
1	千年の時間を刻む心いやす郷づくり推進事業 (基本目標: I「訪れたい」「住みたい」を全力で応援するまちづくり)	当地域にしかない豊かな自然や景観、文化の再生、継承を行うことで、都市部住民との交流、移住の促進や企業、大学等との連携に取り組み、訪れたい、住みたいとなる里づくりを行う。 平成29年度については、「荘園ほたる」での食事や加工品等を提供する環境を整備した。また、田染地域で生産される市特産物の供給体制を整備した。 古代公園の展示環境の整備等により、文化財保存継承による交流人口の増加に繋げる取組を実施した。また、古代公園の展示環境の整備等により、文化財保存継承による交流人口の増加に繋げる取組を実施した。 【事業期間:平成28年度～平成30年度】	1. 里山触れ合い体験事業 【1,000,000円】 2. 里山共生対流プラットフォーム確立事業 【1,500,000円】 3. 里山共生対流拠点ネットワーク整備事業 【730,308円】 4. 里の山活用による観光交流促進事業 【10,000,000円】 5. 地域に伝わる自然食品生産拡大事業 【1,813,339円】 6. 高品質食材提供による観光滞在確立事業 【5,000,000円】 7. 地域文化財保存継承事業 【5,894,640円】	推進	25,938,287円	12,969,143円	指標① 田染荘を中心とした地域の価値を体感する交流人口 (事業開始前:1,500人)	4,500人	15,500人	事業の継続	訪れたい、住みたいとなる「心いやす郷づくり」を推進していくためには、中長期的な環境づくりが必要であり、取り組みの継続が求められているため、引き続き推進していく。	【地方創生に相当程度効果があった】 指標①については、イルミネーション「千年のきらめき」などの効果により、目標値を大きく上回っている。 KPIの実績状況から、目標値を7割～8割達成しており、本交付金事業は、地方創生に相当程度効果があったものと考えられる。
2	女性の働きたいを全力でかなえる「農・福・商」連携プロジェクト (基本目標: II「働きたい」を全力でかなえるまちづくり)	農漁村女性集団連絡協議会を中心に「農業・福祉・商業」の政策間連携により「農産物集荷・出荷システム」、「宅配システム」など新たなビジネスモデルを展開し、農漁村女性集団連絡協議会のマーケット拡大を図り、「稼ぐ力」を持続的に生み出すプラットフォームを構築する。 平成29年度については、農作物出荷等の運用にあたり、必要な研修会の開催や地域食材を使った特産品開発等を行うとともに、集荷・宅配システムの拡大に向け必要となる機材等整備を実施した。 【事業期間:平成28年度～平成29年度】	1. 農産物集出荷・宅配システム構築・拡大事業 【7,944,000円】 2. 世界農業遺産を活用した経営の柱づくり事業 【5,786,745円】	推進	13,730,745円	6,840,372円	指標① 交付金事業による農漁村女性集団連絡協議会の販売売上増加額 【H29増加分】	1,000,000円	9,810,000円	予定通り事業終了	特産品等の開発・販路拡大など6次産業化の取組を推進し、農林水産業の振興及び地域の活性化を図る。	【地方創生に非常に効果的であった】 指標すべてにおいて、目標を上回っており、指標①については、大幅に増加している。 KPIの実績状況から、本交付金事業は、地方創生に非常に効果的であったものと考えられる。
3	広域連携アンテナショップ事業 【広域連携:豊後高田市、杵築市、国東市、姫島村】 (基本目標: II「働きたい」を全力でかなえるまちづくり)	広域連携アンテナショップ運営事業による世界農業遺産の里「国東半島ブランド」の推進に加え、「バイヤー商談会」の開催、市場ニーズの把握による商品改善や商品開発を行い、「特産品の販路拡大」「観光振興」を図る。 平成29年度については、福岡での特産品販路拡大を図るため商談会開催や、国東半島へ観光客の誘客を図るため旅行会社と連携したツアー造成を実施した。 【事業期間:平成28年度～平成31年度】	1. アンテナショップ運営事業 【9,904,979円】 2. バイヤー商談会 【600,000円】 3. 観光誘客事業(ツアー造成事業) 【1,571,280円】 4. 輸出ルート調査事業 【201,822円】	推進	12,278,081円	6,020,000円	指標① 新規販路開拓事業者 【H29増加分】	1事業者	2事業者	事業の継続	国東半島ブランドの更なる向上を図るため、各市村間での政策連携を強化し、特産品開発や店舗の売上額及び来店者数の更なる増加に取組むほか、国内外での新たな販路を開拓し、生産者所得の向上を図る。	【地方創生に相当程度効果があった】 物販売上額の増加が目標値に達していない点があるので、ターゲット戦略等を行うことが大切である。 KPIの実績状況から、目標値を7割～8割達成しており、本交付金事業は、地方創生に相当程度効果があったものと考えられる。
4	パーフェクトビーチを核とした里海ヘルスツーリズム事業 (基本目標: I「訪れたい」「住みたい」を全力で応援するまちづくり) (基本目標: II「働きたい」を全力でかなえるまちづくり)	長崎鼻リゾートキャンプ場を核に「安全・清潔・快適な海水浴場(パーフェクトビーチ)」をコンセプトとした海辺の環境整備を行う。 平成29年度については、事業実施計画策定、タラソテラピーの体験教室の開催やモニターツアーの実施、SNSなどを活用した情報発信体制の整備、老朽化した海の家への代わりとなるコンテナハウスの設置などを実施した。 【事業期間:平成28年度～平成30年度】	1. 里海ヘルスツーリズム事業実施計画策定 【4,201,956円】 2. パーフェクトビーチを核とした里海ヘルスツーリズムモデル事業の実施 【47,370,953円】	推進	51,572,909円	24,205,465円	指標① 市内の観光入込客数 (事業開始前:1,176,306人)	1,211,300人	1,198,165人	追加等更に 発展させる	本事業が自立し、持続可能かつ発展的な取組を可能とするため、当エリアが持つ魅力を最大限に引き出し、海辺の付加価値を高めて行く。 また、収益性を確保していくことが必要不可欠であることから、ディレクションを含めた環境整備、魅力創出及びプロモーション事業について、民間ノウハウを活用して事業を展開し、オリジナル複合ヘルスツーリズムの確立を目指す。	【地方創生に効果があった】 KPIの実績状況では、目標値を達成していないが、平成29年度の長崎鼻の入込客数は増加している。 事業開始前よりも改善しているため、本交付金事業は、地方創生に効果があったものと考えられる。